

### 第3章 めざすまちの姿(案)

新基本構想では、3つの基本理念を踏まえ、概ね20年後を想定した新宿区の「めざすまちの姿」を次のとおり定めます。

案1 『新宿力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち

案2 新宿区民の力を結集して創造する、やすらぎとにぎわいのまち

案3 『自治力』で創造する、やすらぎとにぎわいのまち

#### 【考え方】

『新宿力』とは、ひとつは自然や歴史、文化芸術、経済活動等を背景にこれまで新宿が蓄積し培ってきた豊かな地域の力です。もうひとつは多様性、先端性を受容する都市としての懐の深さを背景に、新宿に集まる多種多様な人の持つ無限に広がる未知のエネルギーです。この二つを包括的に表現したのが『新宿力』です。

『新宿力』とは何かを自問するところから、私たちのこれからのまちづくりが始まります。

『新宿力』は、新宿に住む人々はもとより、新宿に働き、学び、集い、憩う、多くの人々による「自分たちのまちは、自分たちで担い、自分たちで創りあげたい！」という《自治の力》を象徴的に表したものです。

この『新宿力』を原動力として、わたしたちは、これからも多様な人々との交流を深め、活発化することにより、「にぎわい」がみなぎる新宿を創造していきます。また、同時にわたしたちは、都市としての「やすらぎ」も大切と考えます。「やすらぎ」と「にぎわい」が共存し、調和したまち・新宿の未来を、次世代を担う子どもたちの将来を見据え、わたしたちは創造していきます。